

(様式第4号)

上田市交流文化芸術センター運営協議会 会議概要

1 審議会名	上田市交流文化芸術センター運営協議会
2 日時	令和7年6月25日 午後2時00分から午後4時10分まで
3 会場	サントミュージゼ スタジオ
4 出席者	荒井洋文委員、今井拓也委員、岩木功委員、田中美恵子委員、中村彰委員、馬場雄一郎委員（五十音順）、 (助言者：吉本光宏（一財）長野県文化振興事業団理事長)
5 市側出席者	小林文化スポーツ観光部長、荻原館長兼総合プロデューサー、堀内副館長、中村副館長補佐、小泉舞台技術係長、田澤事業係長、馬場総務係長
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和7年6月25日
協 議 事 項 等	

第1回 交流文化芸術センター運営協議会

- 1 開会（堀内副館長）
- 2 あいさつ（荻原館長）
- 3 事務局自己紹介
- 4 会議事項（進行：荒井副会長）
 - (1) 令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画について
 - 【説明】（事務局）資料に沿い令和6年度事業の報告及び令和7年度事業計画について説明
資料に沿い令和6年度事業の収支決算見込みについて説明
 - 【質疑】
 - (委員) 劇場連携の事業とはどういった連携か
 - (事務局) 他館との共同開催で全国ツアーを回すなどしている。
 - (委員) 助成金採択の可否は些細なことで決まるのか。
 - (事務局) 助成額全体の規模が減少していること、審査の基準・方法も変わってきているが審査の内容についてはこちらではわからない。
 - (2) 上田市交流文化芸術センター 事業・運営検証のための調査結果について
 - 【説明】（事務局）資料に沿い令和6年度事業で実施した事業・運営検証のための調査結果について説明
 - 【コメント】（助言者）調査結果報告を踏まえ、劇場の全国的な状況を踏まえコメント
子供たちの体験格差を埋めるためのふれあい事業は重要である
高齢になっても劇場を訪れる方が他に比べ多いのは特徴的 など
 - 【質疑】
 - (委員) バレエ公演を鑑賞したがとてもよかった。小中高生が多かった。
アンケートにある来館理由で「サントミュージゼの事業だから」はどう捉えたら良いか
 - (事務局) 「サントミュージゼの企画だから行く」という理由で来られるのかが知りたいという趣旨。
アーティスト等のファンだからといったことではなく、「アーティストや演目は知らなかったが、行ってみて興味や好感をもてた」という感想も多く、結果「サントミュージゼの企画のファン」と思われる方が、徐々に増えてきたように感じる。

(委員) クラスコンサートについて、子供たちが本物の演奏を身近に体感できることはとてもありがたいと感じている。

(委員) アウトリーチについて、学校でやる必要はあるのか。子供の劇場体験としてクラシックに偏りがある。学校で地域の文化芸能を学ぶべきで何とかしてもらいたい。

(事務局) 移動音楽教室は小学校で年1回サントミュージゼに来て実施している。子供たちが普段いる（生活している）ところ（学校）でやることに意義を見出している。

地域の伝統文化については第二期の計画ではできていないので課題。サントミュージゼ単体では難しいが第三期計画において検討していきたい

(3) 検証報告を踏まえた第3期運営管理計画の策定について

【説明】(事務局) 資料に沿い、これからの交流文化芸術センター運営管理計画策定の流れについて説明

3 その他

(事務局) 次回の協議会開催日程等について確認

文化スポーツ観光部長あいさつ

4 閉会（副館長）